

ら い 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 89 2月号

2013年2月1日 発行
たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

URL <http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(URL:<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/m/>)

読書と私 No.81

「図書館へ行こう」

神岡町 中務 貴子

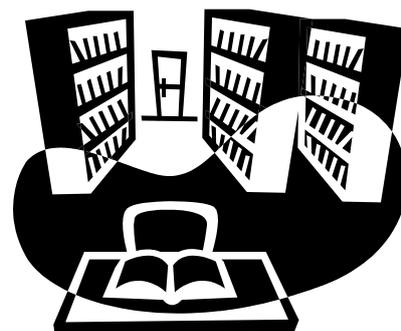
私の図書館通いは小学校の時に始まった。図書館に行くと、なんだかワクワクする。大人になった今でもその気持ちは変わらない。図書館はいろんな世界を私に見せてくれる刺激的な遊園地のような場所であり、同時に、懐かしく安心する実家のような場所でもある。

時間があれば図書館へ行く。ゆっくりとソファーにかけて雑誌のページをめくり、特集コーナーを眺め、図書館中を歩き回っているいろんな本と出会い、ワクワクしながらその日の気分にあった本を数冊借りて帰る。たったそれだけのことだが、心がリフレッシュできて、前向きになれるのだ。

しかしながら、私は借りて帰った本を読めないまま返却することも多い。それでも、また図書館に行ってしまう。読書する時間がなかなかとれない私が図書館に通うのは、奇妙である。図書館通いをしている人は熱心な読書家ではないのか。

正直なところ、私は真の読書家ではない。読書家は忙しい中でもなんとか時間を作って本に没頭するものである。きっと私は本を借りるという目的だけで図書館通いをしているのではない。もちろん本を読みたい気持ちもあるのだが、それ以上に、図書館がもつ雰囲気、魅力的な本に出会ってワクワクした気持ちを味わうために図書館に通っているのだ。

しかし、借りた本を読めていないのは、図書館の魅力を十分に堪能しきれていないと言えるのではないか。それでは図書館に対して申し訳ない。私は今年の抱負として「月1冊以上本を読むこと」を心に決めている。小さな目標だが、千里の道も一歩から！今年こそは、図書館と本の魅力にどっぷり浸かりたいと思っている。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『江戸の天文学—渋川春海と江戸時代の科学者たち』 中村 士 監修 角川学芸出版



日本において、古代に中国から伝わった天文暦学は、さまざまな天文現象の吉凶の解釈が主で、科学的な天文学が花開いたのは江戸時代に入ってからである。本書は、その草分け的存在である渋川春海をはじめ、生涯をかけて天文暦学に取り組んだ

科学者たちの偉業をまとめたものである。

日本では江戸前期になっても、800年以上前に中国から輸入された「宣明暦」が使い続けられ、日食、月食などの予知を誤ることが多くなっていた。そこで、幼い頃から天文観測に優れていた渋川春海が、会津藩主、保科正之の命を受けて改暦に取りかかる。春海は、当時の中国の「授時暦」を支持するも、日食の予報に失敗。諦めずに観測と研究を続け、中国と日本の里差（経度差）に思い至って試行錯誤

を重ねた末、初の国産暦である「貞享暦」の誕生となったのである。春海はこの功績により幕府「天文方」に任命される。また、開業医の傍ら独学で天文学の研究を学んでいた麻田剛立は、研究を行うために侍医を辞めて脱藩し、大坂の懐徳堂に身を寄せて、その後、天文暦学の私塾を開く。門下には、寛政の改暦に関わった高橋至時や実測による日本地図を作った伊能忠敬らがいる。そのような科学者たちを支えたのは、グレゴリー式反射望遠鏡を参考書も指導者もなしに作り上げた国友藤兵衛や、自身も天体観測を行い、天文学のために洋書輸入の緩和政策をとった徳川吉宗をはじめとする夢を託した人々であった。

鎖国下にあっても、彼らの情熱は尽きることがなく、壮大な宇宙の真理を探求したその生きざまは、困難な状況を切り開く日本の科学の可能性をも感じさせてくれる。
(龍野図書館 藤川)

トピックス ミケランジェロに会いに行こう！！



○貴重本「ミケランジェロ・ラ・ドツタ・マーノ、ちりめん本、三木露風の書簡」一般公開

【と き】 2月16日(土)・17日(日) 11:00~15:00
【場 所】 2階郷土資料室 【同時開催】 龍野美術協会作品展

○ たつの市出身大浦一志先生 貴重本「ミケランジェロ」と美術大学教育の現在を語る

たつの市出身の武蔵野美術大学教授 大浦一志先生による講演会を開催します。美術家としての観点から芸術家ミケランジェロ及び貴重本や、ライフワークとされている雲仙普賢岳での芸術活動について講演していただきます。

【と き】 2月23日(土) 14:00~15:30
【と ころ】 たつの市立中央公民館(2階大ホール)
【講 師】 大浦一志 氏(美術家・武蔵野美術大学教授)
【演 題】 「ミケランジェロと美術大学教育の現在、そして私の仕事」
【入 場 料】 無料
【主 催】 たつの市教育委員会 たつの市立龍野図書館
【問い合わせ】 たつの市教育委員会事務局社会教育課 TEL(0791)64-3180
(*駐車場は龍野小学校の運動場をご利用ください)



おすすめする子どもの本・83

『うんがにおちたうし』 フィリス・クラシロフスキー 作 ポプラ社

見渡す限り平べったいオランダの畑で、お百姓さんに飼われている牛のヘンドリカは、くる日もくる日も草を食べて過ごしていました。ヘン

ドリカは、そんな毎日に飽き飽きしていました。荷車をひいてやってくる馬のピーターに、町の様子を聞いては、行ってみたいと思っていました。

ある日、ヘンドリカは、牧場の近くを流れている運河にうっかり落ちてしまいました。水の中を歩いていると、古ぼけた大きな箱にぶつかりました。ぐんぐん押しているうちに、その箱に乗ってしまったヘンドリカは、岸から離れ、流されていきました。風車やチューリップ畑を通り過ぎ、町に近付くと、段々屋根の家が見え始め、大勢の人が流れていく箱

を追いかけました。ヘンドリカはみんなに見られて嬉しくてたまりません。

突然、箱が止まり、子ども達が綱をかけて引っ張りあげました。しかし、ヘンドリカは、綱を引きちぎり、初めて見る、珍しいものばかりの町中を走り抜けました。

少し疲れてきた頃、市場へたどり着くと、そこには、チーズを売りに来ていたお百姓さんがいるではありませんか。ヘンドリカは、お百姓さんに連れ戻されますが、町での楽しい出来事に大満足でした。

運河に流され、見たことのない町に行くという、ヘンドリカの大冒険に心が踊ります。また、空の水色と草の緑が爽やかに際立ち、細やかに描かれたオランダの風景を見ているうちに旅をしているような楽しい気持ちになります。読んであげるなら4、5歳くらいから。
(揖保川図書館 竹内)

『こぎつねルーファスのぼうけん』

アリソン・アトリー 作 石井 桃子 訳 岩波書店

森の中に、子ギツネがひとりぼっちで住んでいました。ある夕方、子ギツネをアナグマおくさんが見つけました。「おかあちゃん、いないんだ。家、ないんだ。なんも、ないんだ」悲しそうに泣く子ギツネを、可哀そうに思ったアナグマおくさんは、自分の家に連れ帰ります。子ギツネはルーファスと名付けられ、アナグマ一家と暮らすようになりました。

ある夜、川で白鳥の語るおとぎ話を聞いていたルーファスは、奇妙な臭いに身ぶるいました。振り返ると、大きなギツネが、おそ

ろしい目で白鳥をじっとにらんでいます。ルーファスは、ガタガタ震えながらも、勇気を奮って、「こんばんはギツネおじさん！」と、白鳥が用心するように大声で叫んで、白鳥を逃がしました。

腹を立てた大ギツネは、今度はルーファスを捕まえ、自分の家まで引きずり、小さな箱の中に閉じ込めてしまいました。しかし、大ギツネが居眠りを始めると、じっとチャンスのを待っていたルーファスは、ポケットからカエデの実のカギを取り出します。そしておまじないの言葉を唱えると…

好奇心でいっぱいルーファスを中心に、森の動物たちの生活が痛快に描かれ、詩や歌も小気味よいリズムで物語を盛り上げます。小学3年生くらいから。

(御津図書館 西田つ)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	2月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	0～3歳児、保護者 ----- 第1・第2土曜日(11時～11時20分)	2日・9日 『どうやってねるのかな』他
	●子どもの本を読む会	一般 ----- 第4木曜日(10時～11時30分)	28日 『グリーン・ウの子どもたち』L.M.ボストン 著 『この湖にボート禁止』ジェフリー・トリス 著
	読書会	一般 ----- 第2金曜日(10時～11時30分)	8日 『天の鹿』安房直子 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 ----- 第3・第4月曜日(11時～11時20分)	18日・25日 『ぼとんぼとんはなんのおと』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ ----- 土曜日(11時～11時30分)	2日・9日・16日・23日 「ホレばあさん」他
	<p>— あの曲をもういちど — 蓄音機によるSPレコードコンサート♪</p> <p>蓄音機の銘機「クレデンザ」・「HMV194」によるSPレコードコンサートをします。もう一度聞きたいとリクエストの多かった曲を集めたとおきのナンバーをお楽しみください。【日時】10日(日)13時30分～15時30分 【場所】新宮図書館 【対象】一般(中学生以上) 【定員】50名(申込要)</p>		
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	9日・16日 『てぶくろ』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	9日・16日 「ホレおばさん」他
	読書会	一般 ----- 第3水曜日(10時～12時)	20日 『硝子戸の中』 ^{がらすど} 夏目漱石 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 ----- 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	10日・17日 『くんくんとかじ』他
	読書会	一般 ----- 第1火曜日(13時30分～15時30分)	5日 『背中の勲章』吉村昭 著